

１ 社会・治安情勢

全国的に、多数の参加者を伴う集会や抗議デモも発生しておらず、市街地は比較的落ち着いています。８月以降、米軍のカリブ海駐留を受けて、沿岸部の各州では軍事演習が展開され、非常事態宣言の発出が仄めかされる等、米国との緊張の高まりが見られます。また、当地ＮＧＯによれば、昨年の大統領選挙以降、１０カ国以上の外国人が拘束され、現在、数十名の外国人が収監されており、適切な領事面会等を受けられない状況が継続しているとのこと。当局からの職務質問や検問では、冷静な対応を心がけ、無用のトラブルを避けるようにしてください。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１） 全般

当地治安当局によれば、２０２５年７月～９月の全国の犯罪発生認知総件数は前年同期比で約１％微増しました。全国的に殺人や強盗といった凶悪犯罪の認知件数は減少していますが、全国的に詐欺事件は昨年比で著しく増加しています。経済状況の不安定さやインフレの進行による生活困窮が犯行の動機につながっているものと考えられます。

（２） 各論

同当局によれば、増加している詐欺事件の多くは、偽のホームページから個人情報や口座情報を抜き取るフィッシングサイトによる被害や、ＳＮＳ上で極端に安い商品を掲載し、それを信じた被害者に架空の商品等を売りつける手口が増加しています。こうした商品の売買を発端としたトラブルにより強盗や殺人事件に発展するケースもあります。被害に遭わないためにＳＮＳでの情報を鵜呑みにせず、被害に遭わないように注意してください。

（３） 邦人等の被害事案

なし。

３ 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、８月以降、麻薬密輸対策として米軍がカリブ海に展開し、これまでに複数の麻薬密輸船が爆撃されており、米政権はさらに陸上への攻撃を示唆しています。薬物密輸拠点があるとされるスクレ州の一部やコロンビア国境地域への攻撃の可能性もあり、ベネズエラと米国の緊張が高まっています。米軍の対応がさらにエスカレートした場合、ベネズエラ政府は非常事態を宣言する可能性があります。そうなれば、集会や移動の制限が出され、日常生活に支障をきたすことが予想されます。非常時には、一定期間自宅待機が必要になることも想定されるため、水や食料品の備蓄を準備して下さい。

４ 誘拐・強盗事件発生状況

統計上、７月から９月の間に１件の誘拐事件が発生しました。強盗事件についてはカラカス首都圏の比較的安全とされている地域でも発生しており、犯行には複数人が関与し、脅迫の際に凶器や拳銃が使用されるケースもあります。発生時間帯も夜間や深夜だけでなく、昼間帯での発生もあります。外出の際は、目的地までの経路や交通手段を十分に検討し、安全といわれている地域でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。